

## ◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(女児, 10歳未満)あり, 型別はO145(VT(型不明))です。推定感染経路は不明です。本年の累積報告数は32例となっています。詳細は下記ホームページをご覧ください。  
○京都市感染症情報センターホームページ「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- 手足口病の定点当たり報告数は, 4.73(194例)で, 前週 4.73(194例)と同じです。第30週(7月22日～7月28日)以降, 7週連続で過去5年平均値を上回っています。今後の動向にご注意ください。
- 流行性角結膜炎の定点当たり報告数は1.40(14例)で, 前週 0.60(6例)よりも増加しています。本年で最も多い定点当たり報告数となっており, 過去5年平均値を大きく上回っています。
- 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は0.29(12例)で, 前週 0.15(6例)よりも増加し, 過去5年平均値を上回っています。今後の動向にご注意ください。

## ◆ 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は0.39(16例)で, 前週 0.29(12例)よりも増加しており, 過去5年平均値を上回っています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 二類: 結核 2例(肺結核 1例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 2例  
【1月以降の累積報告数 275例(肺結核 149例, その他結核 68例, 潜在性結核感染者 58例)うち喀痰塗抹陽性 92例】
- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 32例】
- 五類: 風しん(検査診断例) 1例【1月以降の累積報告数 209例】(第33週追加)

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	① 手足口病	4.73	194
	② 感染性胃腸炎	1.71	70
	③ ヘルパンギーナ	0.56	23
	④ 水痘	0.49	20
	⑤ 突発性発しん	0.44	18
眼科	流行性角結膜炎	1.40	14

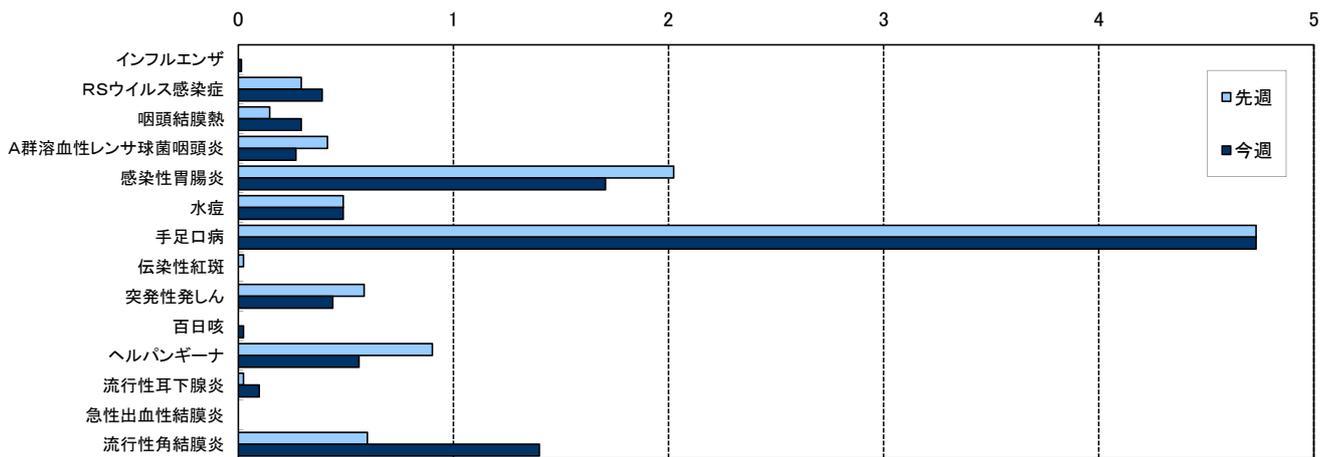
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

(注) 京都市のデータは, 平成25年9月12日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

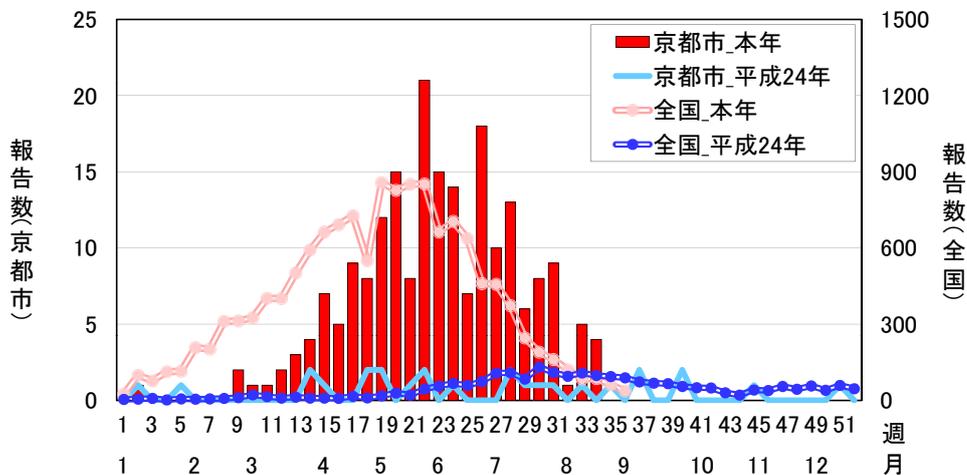
# ◆ 発生状況の概況グラフ

## 1 今週(第36週)と先週(第35週)の定点当たり報告数の比較



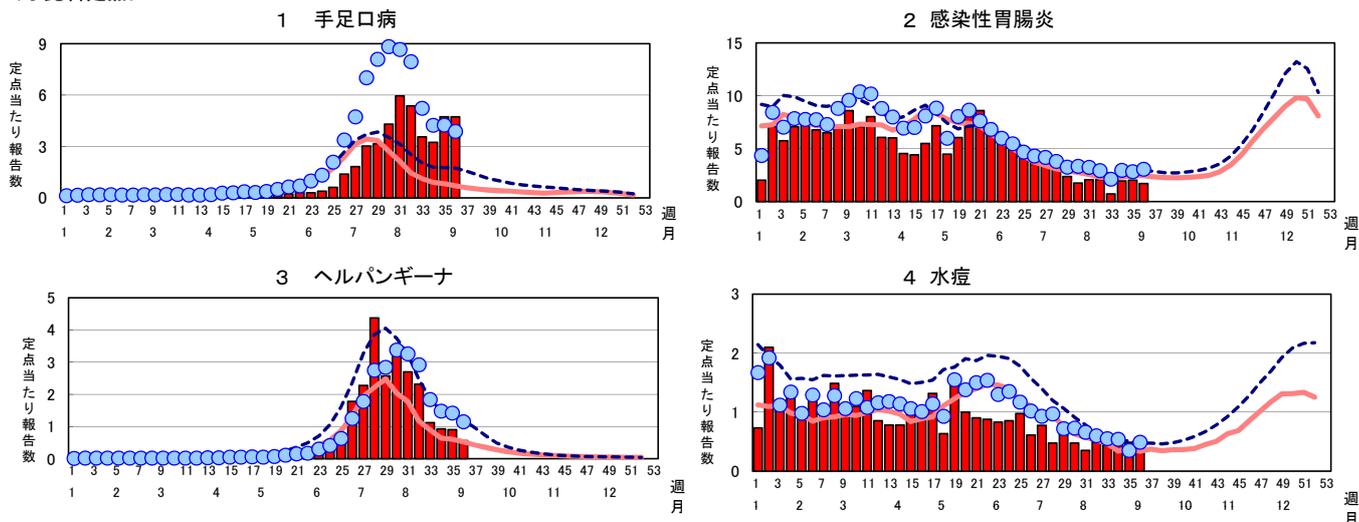
## 2 風しんの推移

今週の報告数(累積報告数) 平成25年9月12日現在	
京都市	0例 (209例)
京都府(京都市を除く)	0例 (110例)
近畿6府県	12例 (5168例)
全国	38例 (13987例)

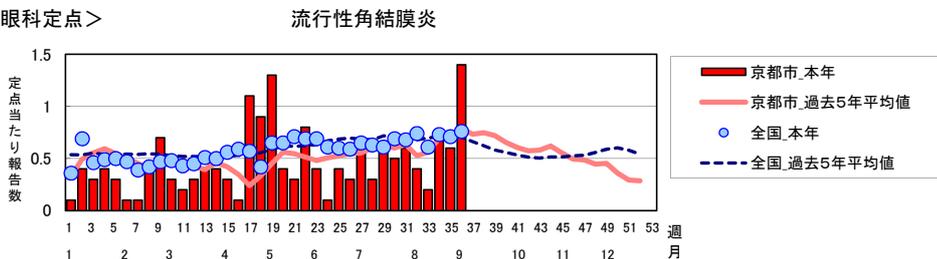


## 3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



## 第36週(9月2日～9月8日)トピックス: <RSウイルス感染症>

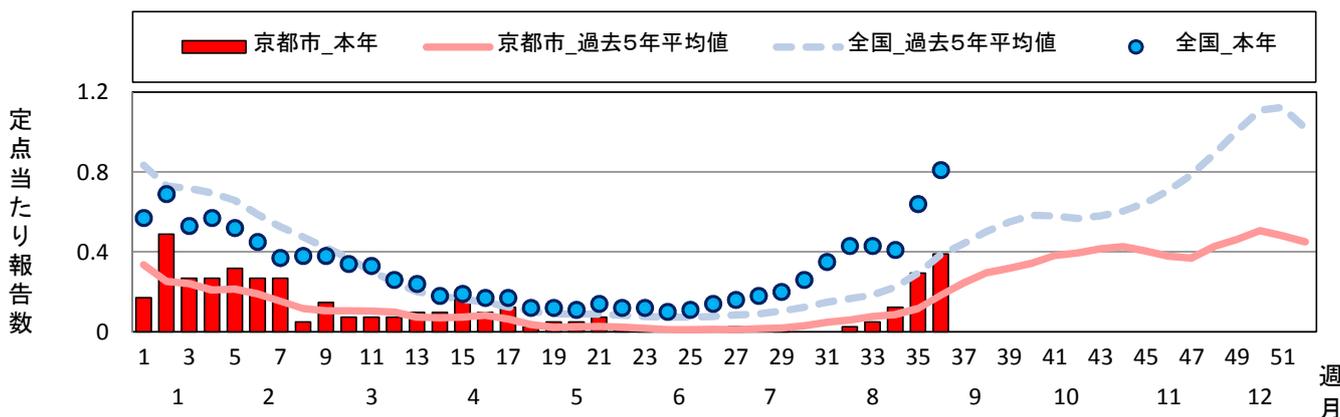
RSウイルス感染症の定点当たり報告数は0.39(16例)で、前週 0.29(12例)よりも増加しており、過去5年平均値を上回っています。「感染症法」において定点把握対象に指定された平成16年以降の同時期と比較して、最も多かった平成24年に次ぐ報告数となっています。

平成22年まで秋から冬にかけて流行していましたが、平成23年、平成24年と2年連続して夏頃から報告数が増加しており、本年も第32週(8月5日～8月11日)以降連続して増加しています。全国でも、過去5年平均値を上回る状態が続いており、今後の動向に注意が必要です。

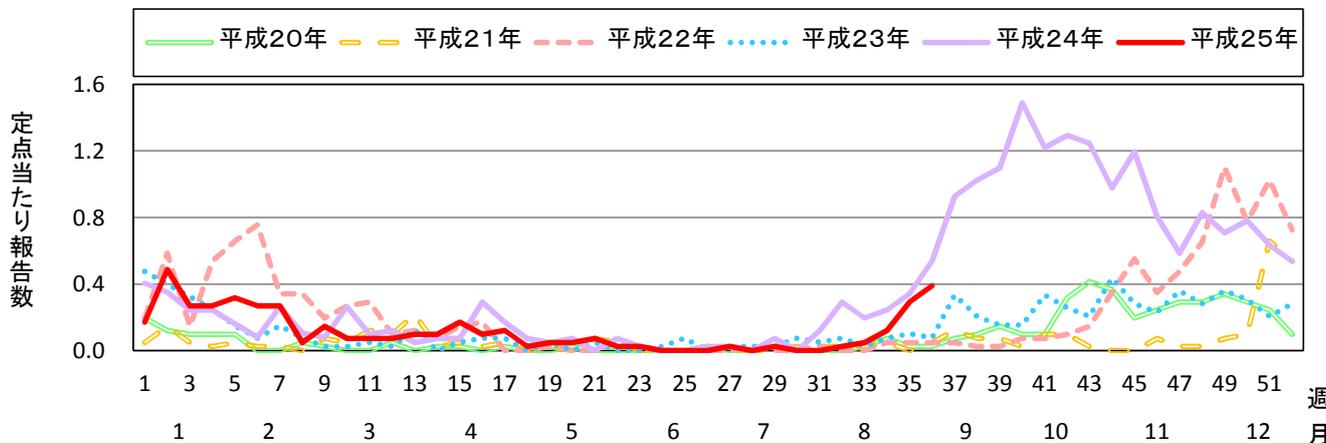
年齢階級別では、1歳が9例(56.3%)と最も多く、次いで6箇月～11箇月 4例(25.0%)と、0～1歳が87.5%を占めており、すべて3歳以下の報告となっています。

RSウイルス感染症は、乳幼児で重症化しやすく、特に乳児期早期(生後数週間～数カ月間)にRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。

京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



京都市の定点当たり報告数の推移



京都市の年齢階級別割合の推移

